

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム八代のぞみ  
作成日 平成 23年 12月 12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「安心と尊厳ある生活」の理念の下、利用者の自立支援を目指しているが、不徹底なところがある。	利用者自身でできることは極力手を出さずに見守りながら支援することを理念と一体的に体質化する。	日々のミーティングや職員会議時に自立支援の実践を具体的に取り上げ、利用者の残存機能の維持に努力し、「安心と尊厳ある生活」を確保する。	今後すぐに実践する。
2	26	介護計画の作成に関して、現場の職員の関与が少なく、計画作成担当者主導の作成が続いている。	介護計画の作成、評価、見直しに関して、担当職員を中心に、計画作成担当者の助言を生かしてチームとして取り組む。	担当職員が中心となって、介護計画の具体的内容に踏み込んで関わっていく。それを計画作成担当者やその他職員がサポートしていく。	今後6ヶ月程度
3	6	帰宅願望を訴えられる方に十分に対応しきれず、外出されようと思いとどまるような説得に終始している。	帰宅願望による外出行動の要因分析をしっかりと、ご本人の思いを尊重した解決策を考える。	実際に外出に付き添って、家に帰りたい本当の思いを考えてみる。その際、スタッフの穴埋めを事務スタッフ等がカバーする。	今後1～2ヶ月程度
4	35	火災・地震・水害など災害時の避難に関し、訓練の機会が少ない。また、地域の方々との協力体制も不十分。	想定される災害に対応した訓練を地域と連携して進める。避難場所や対応設備など地域の方々との協力体制を整備する。	6ヶ月ごとの防災訓練時に想定される災害に応じて訓練を工夫し、近隣の地域の方々に訓練参加を呼び掛け協力体制作りに努める。	来年1月の訓練時から実行
5	2	地域の行事やいきいきサロンへの参加はまだ少ない。参加される方も少数で限定的。	地域との交流の機会を増やすことで、ホームでの暮らしに張り合いができる。ホームでの行事にも地域の方々を呼び込む努力をする。	いろんなきっかけを通じて、利用者地域の方々との交流を促していく。地域のボランティアや子供達に軽い気持ちで訪れていただける関係を作っていく。	今後1年程度のうちに実現したい。

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。